


「問題解決に向けて論じ合うための打ち合わせをしよう！」(代表者討論の準備段階 第13時)
 ~ どの立場で、どのような順で論じると、問題の解決により深く結びつくかな? ~

1 目標

パネルディスカッションに向けて、討論者、司会者、フロアの役割分担を決定し、進行の打ち合わせや準備を進めることができる。

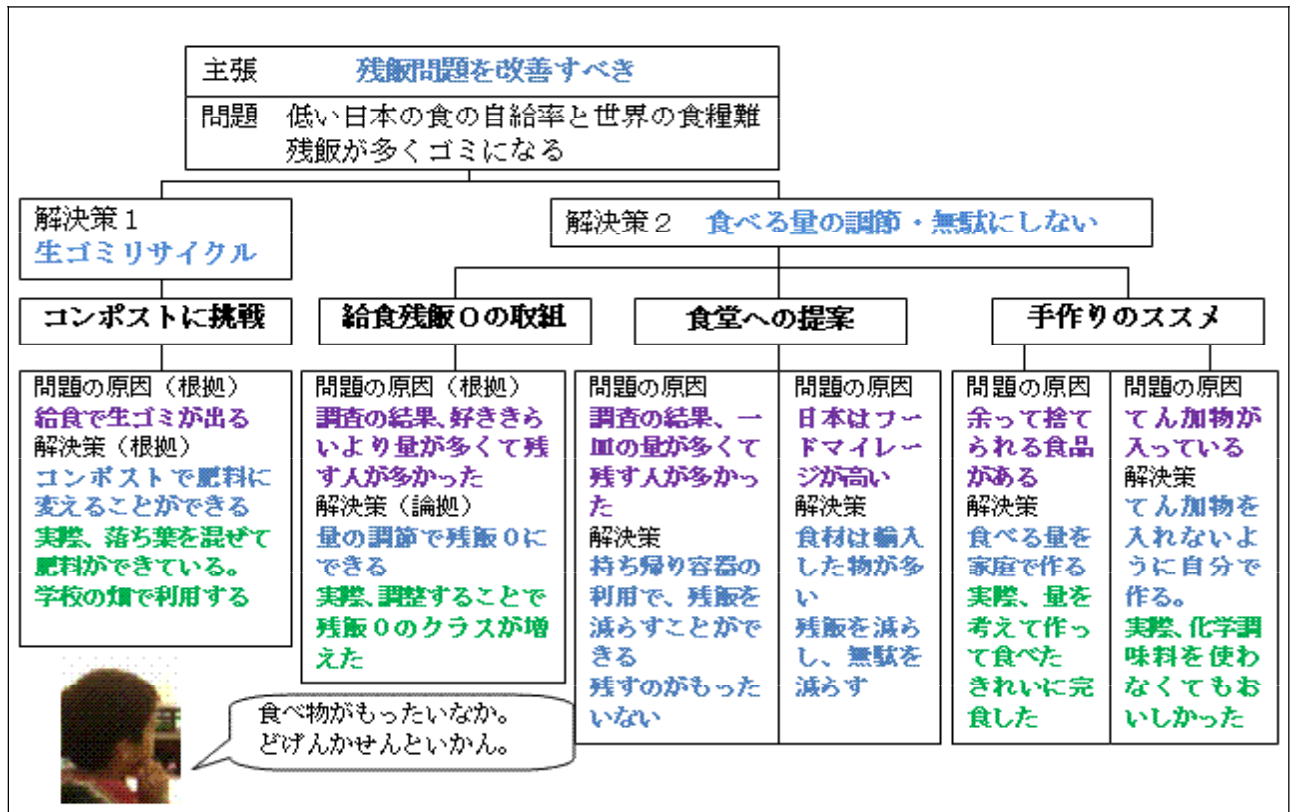
2 展開

児童の学習活動及び児童の反応	教師の指導（・・・本時における評価）
<p>1 本時の課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて パネルディスカッションに向けて役割を決め、進行の打ち合わせをしよう。</p> </div> <p>2 グループで役割を分担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パネルディスカッション当日の討論者、フロアの役割分担を決める。登壇する討論者（パネリスト）は、各グループ代表1名、パネリスト以外はフロアとして参加する。 <p>3 パネルディスカッション1と2に分かれ司会者（コーディネーター）を決める。</p> <p>4 パネリストとコーディネーターの打ち合わせを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各パネリストが発表する意見の要旨を伝え合い、意見発表の順を決める。 ・ 各パネリストによる他のパネリストへの質問の順番を、内容に応じて決める。 ・ 打ち合わせの間、フロアのメンバーは、全体討議で予想される質問や反論と、それに対する回答を用意する。 <p>5 総合司会・はじめのことば・おわりのことばの担当を決め、準備を行う。</p> <p>6 各自、各グループ、それぞれに準備を進める。</p> 	<p>パネルディスカッションに向けてグループ一人一人の予測の異同より、討論者、司会者、フロアの役割分担を決定し、進行の打ち合わせや準備を進めることを確認する。</p> <p>グループのみinnで主張を組み立ててきたことを想起させる。パネリストとして登壇する児童が主張を述べるだけでなく、フロアも全体討論に参加する形で、主張を述べることで、多様な視点から検討することにつながることを確認する。</p> <p>重要な役であるので、事前にコーディネーターの役割を伝え、考えさせておく。</p> <p>論の組み立てシートを活用することにより見通しをもたせるとともに、オブザーバーとして参加する。共通する点、異なる点、関係付けられる点を考慮して、意見発表の順番を決めさせる。</p> <p>パネリスト同士の討議であっても、全体討議においても、質問の内容に応じてフロアのメンバーが回答できるようにし、別の視点からの多様な意見を述べやすくする。</p> <p>コーディネーターは、テーマを念頭に置き、各パネリストやフロアの意見がかみ合い、テーマに向かってつながっていくように、各グループの主張を十分に把握しておく。</p> <p>司会マニュアルやあいさつシートを活用して、準備をさせておくが、当日のパネルディスカッションの内容を受けて話すことが望ましいことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価(1)ア 【関心・意欲・態度】(発言内容やシートを評価) (基準B)話し合いに主体的にかかわったり、予想される質問や反論、回答を積極的に考えようとしたりしている。 (指導) シートを活用させて見通しをもたせたり、モデルを示して参考にさせたりする。</p> </div>

3 授業の考察

(1) 論の組み立てシートを使った打ち合わせの効果

まず、発表する意見の要旨（構成）を聞いて、児童の意見を取り入れながら6つのグループをパネルディスカッション1と2に分け、そのグループのテーマを決めさせた。



資料1 食グループの主張の構成

パネルディスカッション1
 「開発・改善の視点から考える」

- 『食』 食糧難を考える
- 『森』 割りばしから世界を考える
- 『エネルギー』 新エネルギーの開発と省エネ

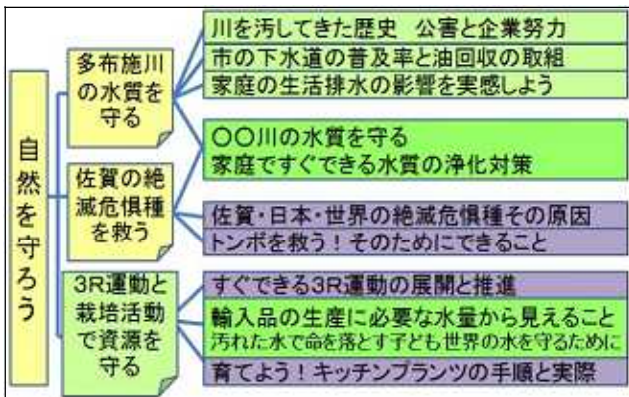
パネルディスカッション2
 「自然を守る視点から」

- 『水』 川の水質を守る
- 『動物』 佐賀の絶滅危惧種を救う
- 『資源』 栽培活動で資源の枯渇を防ぐ

資料2 パネルディスカッション1のグループ

資料3 パネルディスカッション2のグループ

次に、パネルディスカッション1・2のグループそれぞれに分かれて、パネリストとコーディネーターの打ち合わせを行った。打ち合わせ会では、論の組み立てシートを活用して教師とともに整理することで、共通する点、異なる点、関連付けられる点を考慮して意見発表の順序を決めることができた。



パネリストによる意見発表

- 川を汚してきた歴史、水質汚染が進んだときの未来予測
- 〇〇川の絶滅危惧種トンボを救う！そのためにできること
- リサイクル運動を通しての資源保護 収益金での栽培

各パネリストによる質問や反論

- 佐賀以外の絶滅危惧種とその原因、解決策は？
- 水質汚染の原因と解決のための具体策は？
- 生活の中の様々なむだ遣いは？環境に及ぼす影響は？

資料5 パネリストの意見発表の順と、質問の内容

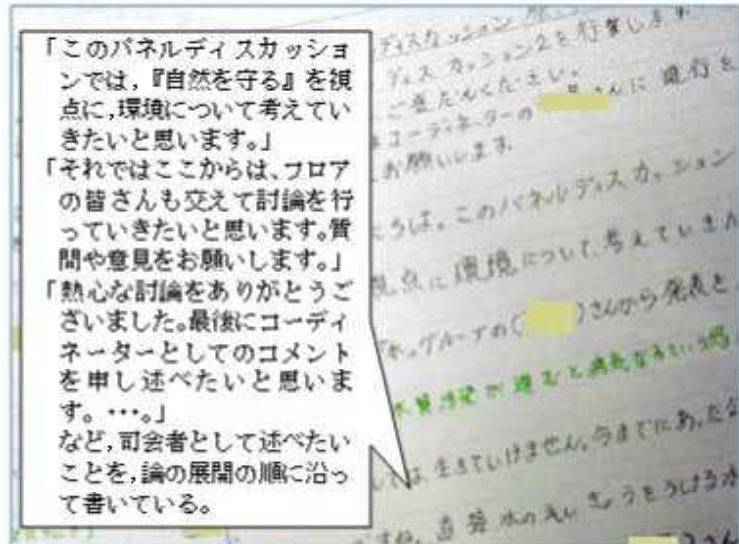
資料4 打ち合わせ会で整理した内容

特に、コーディネーターは、テーマを念頭に置き、各パネリストやフロアの意見がかみ合い、テーマに向かつてつながっていくように各グループの主張を十分に把握しておく必要がある。二人のコーディネーターには、各グループの原稿に目を通し、最後のコメントを前もって自分なりにまとめておき、その上で、当日は心に残ったことを加えて話すように指導した。

授業後、授業時間のみならず時間を見付けては、主体的に活動する姿があった。コーディネーターは打ち合わせ会のシートを基に、自分なりに司会原稿を手書きして全体を把握していた。パネリストやフロアは、予想される質問に対する回答を記述してあらかじめ用意していた。

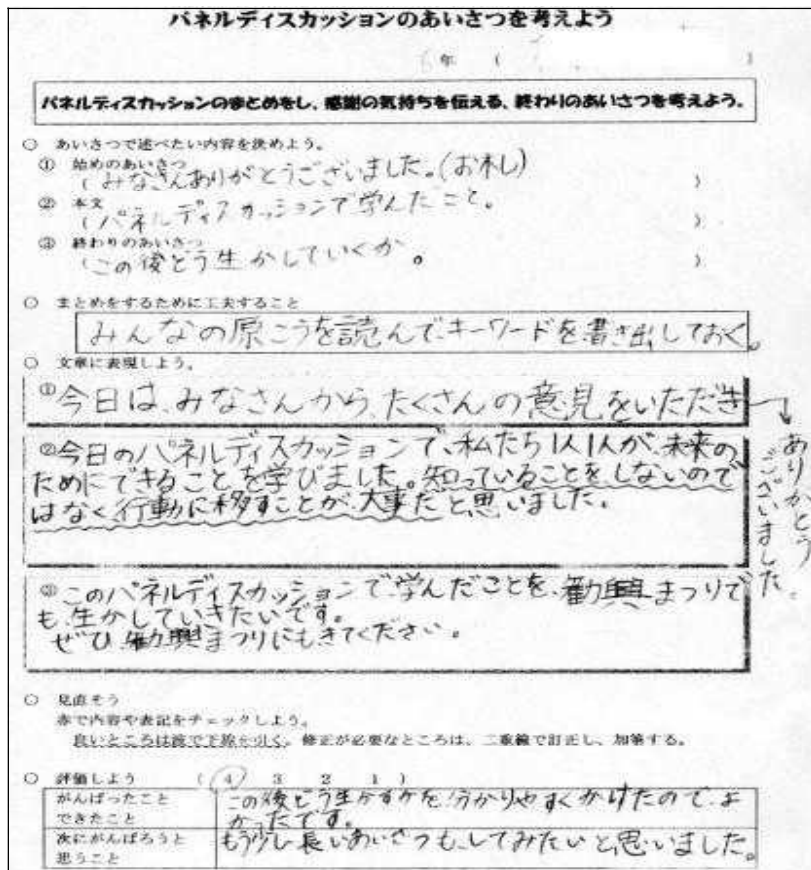


資料6 打ち合わせ会のシート



資料7 打ち合わせ後に児童が書いた司会原稿

(2) 総合司会・はじめのことば・おわりのことばの準備シートの効果



資料8 児童がシートを活用して考えた終わりの挨拶

パネルディスカッションを行うには、各グループの準備と司会者のみならず、「総合司会」、「はじめのことば担当」、「おわりのことば担当」と個別に担う役割がある。その準備を個別に進め、より充実したものになるように、ワークシートを用意した。

資料8は、児童がシートを活用して考えた終わりの挨拶である。言葉を用いて自分の考えをまとめることができていた。教師が事前に用意しておいたモデルも必要がなかった。シートを活用しながらも、自分の力で学ぶことができていたことを評価した。